

すみよし

カトリック 住吉教会
聖堂内の聖母マリア像



2009年 被昇天号

第178号

聖 句

罪を隠している者は栄えない。

告白して罪を捨てる者は

憐みを受ける。

箴言 28章13節





アルスへの道

司祭年に寄せて

赤波江 豊神父

教皇様は今年の 6 月 19 日から 1 年間を「司祭の年」とし、司祭職の恵みに感謝をよびかけました。今年は小教区司祭の保護の聖人である聖ヨハネ・マリア・ピアンネーが帰天してから 150 年にあたります。私自身も司祭叙階の恵みを受けて今年は 20 年にあたります。しかし子供の頃ピアンネーと出会ったことが私の司祭職への憧れの大きなきっかけとなったのでした。

フランスにアルスという村があります。まわりにはとうもろこしとひまわりの畑が広がる静かな村です。18 世紀頃ここにピアンネーという聖人が登場しました。ピアンネーはすぐれた聴罪司祭として、特に当時のフランス革命で荒廃した多くの人々の魂を救った聖人です。また彼は小教区司祭の保護の聖人として多くの司祭から愛されています。しかしピアンネーの魅力はその聖徳もさることながら、彼が神学生の時まったく勉強ができなかったことでしょう。彼は本当に勉強のできない人でした。理解力はあるものの、記憶力がないのです。当時は授業も試験もラテン語でしたが彼はこのラテン語がまったくできなかったのです。それで落第に落第を重ね、何度か神学校から出されそうになったのですが、勉強は出来ないものの信仰の厚さゆえ最後になんとか叙階させてもらった人です。ちなみに私も神学生時代にはこのラテン語で非常に苦労しました。あまりの難しさに時々気が変になりかかりました。本当です！！

私が初めてピアンネーと出会ったのは中学生の時でした。その時私は九州のある小神学校にいました。ある日帰省する夜行列車の中でピアンネーの伝記を読んで非常に感動し、「僕もピアンネーのような司祭になりたい、そしてピアンネーが生涯働いたアルスの村にも行ってみたい」と思うようになりました。しかしそのような夢にもかかわらず中学 3 年の夏おもしろくなくなって突然小神学校をやめてしまったのです。その時多少未練はあったもののもう自分が司祭になることはあるまい。そしてピアンネーとアルスへの憧れは保ちながらも、自分がフランスのような遠い国まで行けるはずがない、結局夢は夢のまま終わるだろうと思っていました。

それから 18 年後、あの時はもうならないだろうと思っていた司祭に私はなっていました。自分でも気付かないまま燃えていた召命の灯をピアンネーが保ってくれていたのでしょう。そして行きたいけど行けるはずがないと思っていたアルスの村へ行く機会が訪れました。

司祭になって 3 年目の 1992 年 8 月 23 日から 9 月 6 日にかけて信者の方と一緒にフランスを巡礼することになりました。日程のなかにアルスへの巡礼もくまれていたのですが、薄情なことに司祭となつてからの私はピアンネーへの思いも薄くなって、

アルスへ行くと聞かされてもあまり気にしなかったのです。ところが 9 月 4 日一行が乗ったバスがアルスへ近づくにつれ（その時私はバスの後部座席で一人何か考え事をしていたような気がします）なぜか次第に胸が高鳴るのを感じました。教会に到着して引き寄せられるように中に入り、ピアンネーが生前の姿のまま眠る祭壇の前に立った時全身が熱く高揚するのを感じました。そしてピアンネーが生前使用していたカリスでミサをささげた時私の目から涙が流れました。実は初ミサの時でもこれほどまでに感動しなかったのです。感動というよりはむしろ興奮に近いものでした。不思議な出来事でした。ここまで私を導いてくれたピアンネーと一緒に喜んでくれたのでしょうか。ミサの後、深い感慨につつまれてピアンネーが生前何十万人もの告解を聴いた告解台に私もひざまずき心の思いをうち明けてきました。教会を去る時私の叙階記念のカードを小祭壇の脇に置いてきました。今でも残っているのでしょうか。

教会の外で親子連れがいたので挨拶したら、一緒にいたかわいい男の子がにこにこしながら私のあとについてきました。あの子は今どうしているのでしょうか。

帰りの列車の中で信者さんたちが私にプレゼントを下さいました。意外に思ってたろうと包みを開けてみると、それは男の子とピアンネーが話している石膏のレリーフでした。一緒にいたフランス人の神父様が説明して下さいましたが、それはアルスの村の入り口にある像の模型で、ピアンネーがアルスに赴任する時道に迷ってそばにいた男の子に道を尋ねている時の模様を描いているものでした。そしてその下にこう書いてありました。

「君は私にアルスへの道を教えてくれたが、今度は私が君に天国への道を教えてあげるよ」

私もいつか多くの人にこう言いたい。



《 目 次 》

聖 句	2	(1)
巻 頭	赤波江 豊 神父	3 (2 ~ 3)
目 次		5 (4)
信徒総会の赤波江神父様のお言葉と終わりのお祈り		6 (5 ~ 8)
評議会新役員紹介		7 (9 ~ 15)
チームから		9 (16 ~ 18)
財務代表退任にあたって・感謝献金について		(19)
洗礼おめでとう		(20)
初聖体		(21 ~ 23)
東プロツク合同堅信式		(24 ~ 26)
神戸地区大会御礼と平和旬間平和の集いへ		(27 ~ 28)
教会学校(サムエルナイト・川遊び・キャンプ)		10 (29 ~ 33)
家庭集会 A・B・C 地区		(34 ~ 35)
タイからのお客様		(35)
ジョージ神父様		(36)
バーベキュー大会		(37)
信 徒 動 静		(38)
教 会 日 誌		(39)
後 記		13 (40)

題字 故 千葉 健吉

表紙 写真 甲斐 義明

太字はこのホームページ掲載 PDF ファイルのページ、カッコつきは原本のページです。

〔信徒総会の赤波江神父様のお言葉と終わりの祈り〕

2007年7月に着任しましたのでまだ2年経ていませんが、皆様のご協力有難うございます。

この教会の良いところは家庭的であり、幼稚園があるせいか子供に恵まれている。この規模の教会で、教会学校に50人も子供が集まるのは奇跡的な事です。未信者のお子さんが多いのも、将来に向けて希望があり素晴らしいことです。このことを大切にしていきたいし、大きな未来があります。

何事にも物事には 2 通りの見方があります。一つは悪い点を直そうとする方法、もう一つは良い点を伸ばそうとする方法です。いずれに於いても、子供を育てるのと教会を育てるのは同じだと思います。欠点を直すだけでは人は成長しません。愛で育まないと発展はありません。良い面を育ていけば悪い面も自然に良くなると思います。そうすることによって私たちのこの教会を暖かいぬくもりのある教会に育てていきたい。これからもご協力お願い致します。

祈り

あなたの息を送って下さい
全てが新たになるように
あなたの息を送って下さい
全てが新たになるように

父と子と聖霊のみ名によってアーメン

喜びは
目から
顔から
動作から
輝き出ます。
喜びは外に向かつてあふれ出るもの
ですから、
それを抑えつけてはなりません。
あなたたちの目の中に幸いを見る人々は、
自分たちが神様の子供であることを悟るでしょう。

マザー・テレサ100の言葉
(女子パウロ会発行)



《 評議会新役員就任ご挨拶 》

評議会議長 黒 田 豊 夫

今年の 4 月末に、10 年ぶりに評議会議長に就任しました。皆様とご一緒にふれあいに満ちた明るい教会づくりに努力していきたいと思います。ぜひご協力をお願いします。

住吉教会は皆様ご存じのとおり、1935 年の創立です。ちょうど 74 年が経ちます。その間、信徒の皆様の祈りによって、非常に穏やかで和やかな教会として信仰を育ててきました。これからもその伝統を大切にして皆様とともに祈っていきましょう。

評議会の議長の仕事はなんだろうと考えてみました。それは皆様の お世話係 だという事です。議長はそのまとめ役です。今年度は評議会に新しい役員が生まれました。4 副議長、1 書記です。教会にはいろんな仕事がたくさんあります。それを上手に進めていくために、今年度から 4 人の副議長と書記の方にそれぞれの「担当」をもって頂きました。その色々な仕事を各チーム長と一緒に相談しながら楽しく進めて頂きたいと願っています。

議長として私は次のような二つのことを考えています。
一つは「ふれあいに満ちた明るい教会づくり」です。もう一つは「住吉教会が将来に成長していく為の評議会の安定した基盤づくり」です。これを議長の責任として、皆様のお力をお借りしながら、一生懸命に進めて行きたいと思っています。

住吉教会には古くからの信徒も沢山おられます。また若い方や子供さんも多くおられます。その歴史を活かしこれからもっともっとふれあいを多くしてさらに明るい教会になっていきたいと願っています。まず、「お互いに挨拶」を交わしましょう。ミサの後にはホールで楽しく語り合い、「お互いのふれあい」を深めていきましょう。そうすればもっと素晴らしい共同体になっていくでしょう。私も 30 年以上もこの教会にお世話になりながら、まだ信徒の皆様全員とは親しくお話しさせて頂いておりません。これからこちらから挨拶させて頂きます。その時はにっこりと笑顔でよろしくお願いします。

評議会はお世話係と申しましたが、結構重要な問題も多くあります。その一つは評議会が安定して継続していく為に、もっともっと若い世代に引き継いでもらうことです。そのために若い方に一緒に仕事を担って頂き、将来の評議会につないでいてもらうことです。

役員や評議員は男性にも女性にもどちらにも適性があります。ご婦人の方がもっと適

していると思われます。これから若い方と一緒に歩んでいきたいと思っています。

もう一つ重要なことは、教会の財政基盤をしっかりさせることです。教会は皆様の維持費や各種献金で維持されています。現在の世界的経済不況や信徒の皆様も経済事情等でいろいろな問題があるとは思いますが、今後の教会運営も非常に重要になってきています。

三年前の 2006 年 6 月には教区と皆様のご協力で新しい聖堂の献堂式が行われました。これからはこの素晴らしい聖堂を維持、管理していく必要があります。そのためには聖堂建設の時と同じように、聖堂維持費用の為に維持献金が必要になってきます。評議会では今、施設管理チームを中心に将来の聖堂維持をどうしていけばいいか、真剣に検討しています。

たいへん長くなりましたが、これをまとめますと次のようになります。

「ふれあいに満ちた、明るい住吉教会づくり」を進めましょう。

そのため、お互いに笑顔で挨拶、ミサ後のふれあいを深めましょう。

「将来の安定した教会基盤づくり」のため若い指導者に未来の希望を託しましょう。

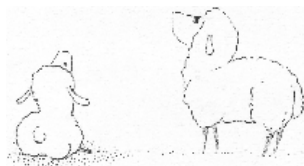
そのため議長以下評議会全員が基盤づくり(指導者の輩出)に努力します。

将来の教会財政基盤安定の為、維持費・各種献金に加え、「聖堂維持特別献金」も検討しています。多難な折ですが、皆様の財政的ご協力を今後ともよろしくお願い致します。

これが私の在任期間中の仕事です。信徒の皆様の絶大なご協力をお願いします。

《 チームから 》

教会学校

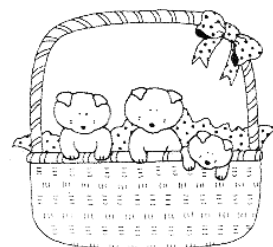


この原稿を書くにあたって、教会学校に在籍している子供たちの人数を確認しましたら、キャンプだけ参加する子も含めて 60 人を超えていました。そのほとんどが、星の園幼稚園の卒園生です。幼稚園のご父兄が、卒園しても何らかの形で、幼稚園で蒔かれた神さまの種を大きく育てて行きたいと望まれているからでしょう。

月 2 回、年間 20 回あまりの教会学校のカリキュラムの中で、どんなことができるかとリーダーでよく話し合います。一人一人のリーダーの力は本当に小さいのですが、1 + 1 が 2 に終わらず、3 にも 4 にもなっていくのを何度も経験しました。

これは実際に子供たちにかかわっている私たちを、見える形で、又お祈りで皆様が支えてくださり、温かく見守ってくださっているからです。が、現在のリーダーの力だけでは足りないと思うこともしばしばです。

大学生、お父様方、おじいちゃまとなられた男性方・・・女性リーダーとは違う視点を持って、一緒に子供たちの内に蒔かれた種を大きく育てて、将来の住吉教会を担う若者を育てていけますように、どうぞお時間とお力をお願いいたします。

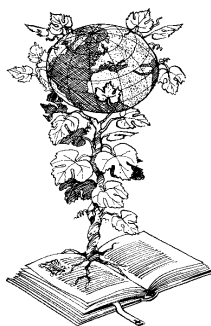


養成チーム

養成チームって？

堅信・初聖体・信仰講座などの お手伝いをするチームです。

みんなで、神様・祈り・御言葉・信仰・教会・・・etc
いろんな事を一緒に考え、話し合える場を
提供出来たらと思っています。



みんなと共感しながら、共に歩める事を願っています。

サムエルナイト

神戸中央教会 日曜学校リーダー

今年も 4 月 25, 26 日と一泊二日で神さまのお勉強をするために住吉教会に子供達を集めて、サムエルナイトをしました。

今年のテーマは“主の平和”でした。

朝は世界の子供達に今起きていることを知ってもらうため“世界がもし 100 人の村だったら”の DVD で観てもらったり、昨年までにやったことの復習をクイズ形式でしたりして楽しく過ごしました。

お昼は実際に自分達が“学校に行けること”“ごはんを食べること”など、当たり前にあることが恵まれているのだということを気づいてもらうため、話し合ったり、作業をしたり、実際に戦争中に勉強したかったけど出来なかったという体験談をお話して頂いたりしました。すごく長い間勉強していたけれど、結構ちゃんと聞いていてくれる子供達の姿を見ていると、すごく嬉しく思いました。

たくさんお勉強した後は、みんな大好きな買い物ラリー 朝食を買うためグループに分かれて買い物に行きました。とっても楽しそうに買い物していたようですよ(^_^)/

夕食はくじを引いて席に座り、世界の食糧の差を感じてもらうためのゲームをしました。テーブルには同じ量のカレーと飲み物を置き、余るほど人数を少なくしたり、分けることができないほど大人数にしたり、ふつうの人数のグループにして、周りのグループにも関心が出るように少しずつ「これでいい？」と子供達に聞きながら、夕食を一緒に取り分けていきました。ごちそうを前になかなか食べられない子供達のするどい視線。なかなか怖かったけど、快く自分のグループの食べ物やお皿、スプーンを足りないグループに分けてくれている姿は、とっても感動的でした。ゲームと分かった時の子供達のほっとした顔とリーダーへの批判はおもしろかったし、真剣に取り組んでくれたんだなあとすごく嬉しく思いました。

夜にはノリノリのキャンプリーダーがダンスを教えに来てくれたり、お祈りのように心を静めるスキンシップゲームをしてくださるリーダーが来てくれたりと、本当にたくさんのリーダーの力を借りて、素敵なサムエルナイトをすることが出来ました。

二日目のミサでは前の晩に“私たちが平和のために今から出来ること”を紙に書いて奉納したり、一生懸命に共同祈願を考えたり、ミサのいろんな役割をみんなですることが出来て良かったです。

どの子も積極的で、役割を決めるときになかなか決まらず、子供達の“やりたいという気持ち”を本当に大事に育てていかなければいけないなぁと、改めて感じる事が出来ました。この二日間を通して、子供達の目の輝き、感受性に私もたくさんパワーをもらえて楽しかったし、本当にたくさんの人が関わって一つのサムエルナイトができているなぁと思いました。

“十主の平和”神様がくださった平和を深く考え、つながりを強く感じたサムエルナイトでした。

最後にご協力くださったリーダー お母さん 教会の方々、本当にありがとうございました(^_^)/ またみんなで楽しい集まりが出来ますように



(小学4年生)

わたしはサムエルナイトでいろんなことをまなびました。でもその中で一ばんたいせつだったとおもったことは、ごはんや薬を、食べられない、買えない人たちです。これでわたしは、世界にいろんな人がいることがわかりました。でもサムエルナイトはすっごくたのしかったです。

(小学3年生)

ぼくはサムエルナイトで国がほかの国にたべものをあげるのかとおもった。だけどほんとうの国にたべものをあげないのをきいてびっくりした。ぼくはぜったいいつも、たべものをたべられるとおもっていた。でもぜったいたべられない国もあるなんておもいもしませんでした。



～ 私のサムエルナイト ～

(小学 6 年生)

私は今年もサムエルナイトに参加しました。この行事には 4 年生の時から参加していて、中央教会の人たちと毎年楽しんでいます。今年もテーマを元にたくさん勉強しました。今年は貧しい人たちのことについて勉強しました。夕食の時に人数のちがういくつかのグループに分かれるのですが、テーブルには 6 人分の食器と食事しか用意してないので。人数が多いグループから大クレームがでたりしておもしろかったです。

新しい友達もできました。私はちがう教会の人たちとともにつながっていてうれしいです。中学生になってもできるだけ参加し、みんなと学んで遊びたいです。

今年も一つすてきな思い出ができました。



〔後 記〕

前編集長が、評議会副議長に就かれたので交代致しました。青天の霹靂のことに、正に 60 の手習いに挑戦です。教会の仕事は神様のお手伝い。一人ではなく広報全員です仕事。ともにいてくださる神様のご計画なのだと素直な気持ちで受け止めました。20 数年前初めて「すみよし」を読んでから毎号楽しく読み、印刷・製本に携わってきました。先輩編集長から手取り足取り一から教えて頂いております。(井本)

「すみよし」第 178 号

発行日: 2009.8.15

発行責任者: 赤波江 豊 神父

編 集: 広報チーム

発 行 所: 神戸市東灘区住吉宮町

2-18-23

カトリック住吉教会

TEL: 078-851-2756

FAX: 078-842-3380

<http://www.sumiyoshi.catholic.ne.jp>

製版・印刷: 信徒有志

